

アナモレリンを併用したがん薬物療法を行う消化器癌の予後因子

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

がん悪液質は病状が進行しているがん患者さんに出現する病態で体重減少や食欲低下などの症状を認めます。アナモレリンはがん悪液質による体重減少を改善する効果がある薬剤ですが、がん薬物療法を行っている消化器癌の患者さんの中にもアナモレリンの服用対象となるようながん悪液質を認める方がおられます。アナモレリンを併用しながらがん薬物療法を受けている消化器癌の患者さんにとって予後（これから先の生存の見通し）に違いを生じる要因があるのかどうかについてはよくわかっていません。そのような要因がみつければ患者さんの利益になる何らかの対策や治療計画を考えることができるのではないかと考えています。そのためアナモレリンを併用したがん薬物療法を行っている消化器癌の生存期間に関係する要因を探索する研究を計画しました。この研究では診療を通じて得られた体重や血液検査データ、患者さんの生存期間などの情報を使用し解析を行います。そのため新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2021年8月～2026年4月までに当院でがん薬物療法とアナモレリンの投与を同時に受けられた消化器癌（膵癌・胃癌・大腸癌）の患者さん

使用する試料・情報

年齢、性別、がんの疾患名、体重、血液検査データ（アルブミン・CRP・ヘモグロビン）、アナモレリン服用からの生存期間など

使用開始予定日：2026年9月14日

研究予定期間

2026年9月14日～2027年03月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 総合腫瘍科 森北辰馬

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 総合腫瘍科 森北 辰馬

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)